

No.001

株式会社ウッドベル鈴木牧場

所在地：滋賀県近江八幡市大中町446
TEL：090-9055-9948



WORKしが
滋賀県が推奨する企業情報サイト

- 農業経営改善計画認定書
- 2018 High Quality Milk Award
- 2016年 第54回優秀農家表彰にて農林水産大臣賞受賞

大きな夢をいつまでも



ミキシングした餌はトラクターで運びます。

大きな夢にチャレンジしませんか

滋賀県近江八幡市のびわ湖のほとりで酪農を営む「株式会社ウッドベル鈴木牧場」。近隣には古い町並みや安土城跡、日牟禮(ひむれ)八幡宮などの歴史的建造物やキャンプ場などのレジャー施設、また人気スイーツショップの大きな旗艦店などもあり、休日は観光客で賑わっています。

その自然と歴史と流行物が融合する近江八幡の地で「大きな夢をいつまでも」という会社のキャッチフレーズのもと、社員一同が乳用牛の飼育にやりがいを持って働いています。

代表は65歳にして現役で活躍中。乳牛や社員のことを考えて設備投資などに大胆にチャレンジしています。

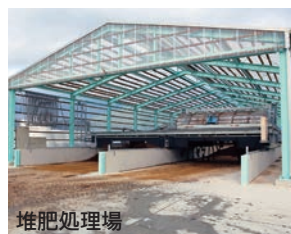
また、現在の規模からさらなる拡大を図ったり、北海道に育成牛を預けたりと、自身が抱く夢を叶えるために新しいことに絶えず挑戦する姿勢を持続中です。

効率化された働きやすい環境です。

弊社の牧場規模は現在約230頭ですが、これから300頭まで増やしていく予定です。酪農としては、搾乳、給餌、仔牛の保育、牛舎の清掃などの作業があります。一見大変そうに思えるかもしれませんが、搾乳はパーラー室を導入しているので一度に10~20頭を搾乳できたり、給餌はトラクターで牽引してまとめて行うため10分でできたりなど、効率よく作業できる環境が整っています。少ない従業員数でどれだけたくさんの働きができるか考えた結果、このような最新の設備投資に踏み切りました。飼料については、牧場で作った堆肥を近隣農家へ提供し、代わりに牛が食べる牧草をもらっています。酪農と堆肥製造を経験できるのが弊社で働く魅力です。

やりがいあり!!未経験者大歓迎!

ウッドベル鈴木牧場は親子二代で経営しています。次期代表は38歳、一般の会社での勤務後に実家を継いで現在12年目です。現場では家族と従業員1名で作業しています。少人数なので意見を言いやすく、風通しのいい職場です。弊社に入社していただいたら、まずは現場で作業していただき、後に牧場長候補として牛舎の管理をお願いします。最終的には牧場長をお任せしたいと思っておりますので、向上心のある方にオススメの環境です!動物を扱う仕事ですから5:00~19:00までの勤務になりますが、休憩は3時間ありますのでゆっくり体を休めることができます。未経験でもやる気がある方なら大歓迎です!住込み寮もご用意していますから、遠方の方でもお気軽にお問い合わせくださいね。ぜひ私たちと一緒にやりがいのある仕事をしましょう!



堆肥処理場

会社データ

代表者：鈴木隆良
資本金：500万円
従業員：6名
(男性5名・女性1名)
設立：2011年

売上金：2億5千万円
1年目支給額(年収)：240万円
休日休暇：年間70日※シフト制
勤務時間：5:00~19:00

採用状況 過去3年

男性1名

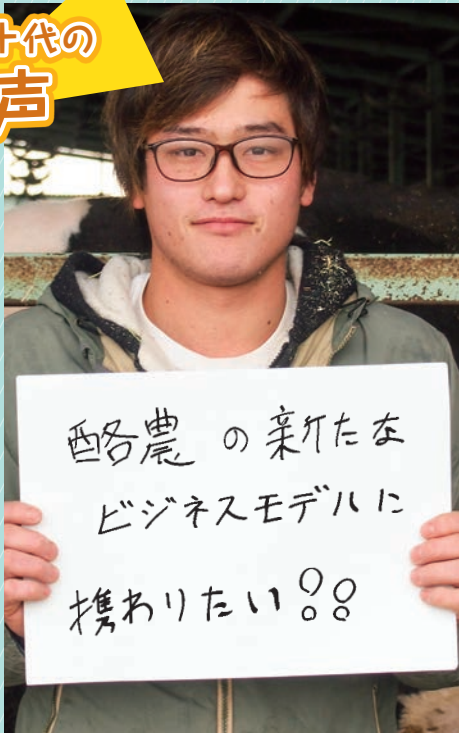


経営理念

大きな夢をいつまでも

酪農の新たなビジネスモデルに携わりたい。

三十代の
声



小杉 真生さん

入社：2016年
出身地：滋賀県

Uターン就職

滋賀県(高校)→岡山県(大学)→滋賀県(就職)

牛に囲まれながら、
日々酪農について考えています。

私は動物が好きで、動物に関わり
たいと思い農業高校に入学しました。
勉強をするうちに、酪農というもの
に興味を持ち、仕事にしたいと思う
ようになりました。近江八幡にある
弊社は、飼育方法が牛にとって過
しやすいよう、先進的なやり方を実
践していると聞き、自らアポイント
を取りインターンシップを希望しま
した。働いている先輩が自分と年齢
が近く、話しやすい雰囲気だったこ
ともあり、ここで働きたいと強く思
いました。

現在の仕事内容は、乳牛の搾乳作
業が中心です。搾乳とは、牛の乳を
搾る作業で、1日に2回行っています。
ここで、牛1頭1頭とコミュニケーションを
図り、牛それぞれに個性が
あることが分かりました。また、最

近では、牧草の種まきや、トラクター
での作業もしています。少しずつで
ることが増え、嬉しく思います。

今後の目標は、一人前になること
です。そのために、今まで先輩に教
えてもらったことを、今度は後輩に
伝えていけるようにしたいです。そ
して、会社とともに成長できるよう、
酪農の新たなビジネスモデルも構築
したいと考えています。



マイワークストーリー

My Work Story

2016年 大切にしていること

入社当初は搾乳方法を教わり、1つの見
逃しが全体に損を生み出してしまうので、
気を付けていました。現在も、牛の機嫌や
様子を見て、何か変わったことがないか牛
と触れながら悪い兆候がないか観察してい
ます。



2017年 自分の変化

2年目になると、牧草の管理の仕事を知
り、自分のできる仕事が増えました。牛の
餌になる牧草の土を耕すことから、種まき、
肥料、トラクターなど仕事の幅が広がりま
した。



2018年 仕事の効率化

3年目になると、生産性の向上を考
えるようになりました。作業の効率化を良
くするべく、先輩からのアドバイスをもら
いつ日々試行錯誤しています。



働き方
改革

牧場のイメージが
変わる。



休憩3時間の使い方は無限大。

動物を扱う仕事だからこそ、勤務時間は5時
から19時で、大変と感ずるかもしれませんが、休
憩時間は3時間あります。ここで、ゆっくり体
を休めることができます。そして、従業員は5
人と少ないですが、従業員一丸で協力し、休日
は半日のお休みも融通が利くので助かっています。
また、牧場は重労働のイメージが多いですが、乳
を搾る時も、牛自ら機械に移動してくれるので負
担は少なくなっています。

No.002

株式会社桑原組

所在地：滋賀県高島市安曇川町西万木926番地
 TEL：0740-32-2345
 HP：https://www.kuwahara-group.com/

モノづくりを通じ、滋賀を良くして行きたい。
 そんな想いを共に実現していきたい！



滋賀県ワーク・ライフ・バランス推進企業



滋賀県女性活躍推進企業認証制度



滋賀県イクボス宣言企業



くるみん認定



WORKしが
 滋賀県が誇る企業情報サイト

- 「美和メセナ」活動登録
- 国土交通省近畿地方整備局工事成績優秀企業
- 近畿地方整備局災害時建設業事業継続力「BCP」認定企業
- ISO9001認証取得、ISO14001認証取得
- JPSMS持続可能マネジメントシステム登録



土木・建築両分野において施工実績・売上高共に滋賀県No.1を誇る建設会社です。

株式会社桑原組は昭和34年2月に滋賀県高島市で建設資材製造業として創業致しました。以来地域の人々の暖かいご支援のもと「企業は人なり」の想いのもとに建設地場産業としての礎を築き上げ、地域インフラの安定的な整備・維持管理を行う縁の下の力持ちとして、安全・安心を確保するための役割を果たしてきました。

また、目まぐるしく動く時代の変化に素早く対応し、お客様の身近なニーズに合わせた事業を展開し『百年企業』を目指し技術と経営に優れた企業づくりに努めています。私たちの地域にも「人」が多く住まいし、その生活を支える多くの産業が歴史と文化のもと発展しています。私たちはその産業の発展のため、関わりのある「人」の生活基盤の向上や地域の振興等にも力を注いでいます。私たちは全従業員や生業にたずさわる全ての家族に幸せが実感できる企業風土を大切に、社会への貢献と人々の幸せの両輪を軸に「人づくり企業」としてこれからも歩を進めていきます。

おかげさまで60周年。株式会社桑原組は平成31年2月14日に創業60周年を迎えることができました。創業時から現在に至るまで培われてきた我が社の力強い絆を更に強化し、社員一人ひとりが同じ理念の基に同じ目標に向かって、信頼され愛される企業作りに専念し、更なる飛躍を目指して努力精進していきたく思っております。

未来を創り、暮らしを支える。それが使命。それが誇り。

桑原組の仕事である道路や河川、橋梁などの土木工事から住宅、学校などの建築工事はどれも身近にあり、生活する上で欠かせないものです。だからこそ私たちは創った道路や施設を使用する人の気持ちになり、想像し、より良いものを作ろうと日々仕事をしています。そうして出来上がった建物や道路を使用する人々が便利で快適な生活を送り、笑顔になる未来を創造する事が私たちの誇りであり、原動力となるのです。また、近年の異常気象下において地震や台風等の災害発生時には迅速な復旧作業が求められ、地域の安心・安全を守っています。

生産性革命と人づくり革命に集中投資を行い働き方改革を推し進める。

県内ナンバーワン建設企業として社会的使命を継続し、ワンランク上を目指せる企業となるべく企業運営に関わる全ての見直しを行い、事業のあり方、組織のあり方などを改革変革し、健全で安定した経営基盤の構築のために受注の拡大、売上の増加、そして適正利潤の確保の徹底に加え、労働災害の撲滅とコンプライアンスの行い、建設業における長時間労働の是正を含めた「働き方改革実行計画」として技術者の確保・育成、資格の取得等の人づくりに向けた様々な成長に繋がられる取組みを行っています。また、ICTの活用やi-Construction導入の推進を図り、生産性の向上を実現すると共に永年培われた技術力、我が社の妥協のないモノづくりへの魂を次世代に伝承していきます。



会社データ

代表者：桑原勝良
 資本金：9,800万円
 従業員：245名
 (男性205名・女性40名)
 設立：1964年

採用状況 過去3年

男性20名 女性4名

売上金：170億9,795万円
 1年目支給額(年収)：390万円
 休日休暇：年間103日
 勤務時間：8：00～17：00



採用責任者 取締役 桑原勇人

経営理念

「感謝の気持ちを未来へ」

モノづくりの楽しさと社会貢献のやりがいがあり、未来への夢が持てる産業として、地域の雇用を創出し、経済の発展に貢献してまいります。

将来は自分の指揮で大きな構造物を創りたいです。

三十代の
声



久米 鴻佑さん

入社：2015年
出身地：滋賀県

Uターン就職

滋賀県(高校)→大阪府(大学)→滋賀県(就職)

小学校の図工から発展!建設業界へ

私は小さいころからモノづくりに興味があり、自分の名前が残るような、何か大きなものをつくりたいと考えていました。そんな想いから学生時代には理工学部へと進み、建設に関する知識を深めました。

卒業に伴い幅広く建設業界を見ているうちに、多種多様な実績があり、いろいろな大きな構造物に関わることができそうな当社に出会い、入社することを決意しました。今では20代にも関わらず、重要な業務も任されています。具体的には、現場において安全かつ正確に作業を行えるように、危険な可能性のある個所に明示看板などを付け注意を促して、事故を未然に防ぐために日々目を凝らしています。私は建設現場において、一番重要なことは「安全」だと考えています。安心して作業をできる環境があるからこそ、効率よく作業に取り組みると心得ています。

建設業界では、何もないところから長い年月をかけて建物をつくっていきます。日々、自分の努力が目に見えてわかるのでその工程を見るたびに、達成感を感じると同時にやりがいを感じることができます。これからも、一緒に仕事をする仲間と、大きなモノづくりをしていきたいです。

当社では、様々な業務に携わることができ、多くの知識や経験を得ることができています。そして将来的にはそれらを活かして、自分が現場全体を管理し、大きな現場で活躍したいと考えています!



マイワークストーリー

My Work Story

2015年 SICの工事

新入社員研修を終えた後、高速道路に設置されるスマートインターチェンジ(SIC)の工事に携わりました。様々な工種が存在し、建造物ごとの丁張のかけ方や実際の作業の流れなどを経験でき、次の工事にも生かすことができました。



2016年 大きな規模の工事から得た達成感

上記のSIC工事が終盤に差し掛かったころ、社内のICT担当にドローンで現場全体の写真を空撮してもらいました。あらためてその規模の大きさに驚き、「やりきった」という達成感を感じることができました。



2017年 仕事に関わる人たちとの仲を深めることができた

普段は先輩と2人でしている作業を1人ですることになった時があり、より一層ミスをしないようにと現場の職人さん達と腰を据えて打ち合わせを行いました。それがきっかけで、現場内でさらに仲を深めることができました。



働き方 改革

休日とボーナスを使い、
楽しく過ごすプライベート



年間休日が増えたことにより 趣味にも専念できています。

今年は、当社の働き方改革施策のひとつとして、年間休日が増えたということで、趣味のサッカーにも力を入れることができています。休日にはサッカー仲間を集めて、ゲーム形式の試合をしたり、練習をするなど有意義に活用しています。また、年に3度あるボーナスを使って、小旅行をしたり、欲しかった洋服を買いに行くなど、仕事とプライベートを両立して、楽しめています。今まで以上にメリハリを持って何事にも取り組む事が大事だと思っています。

No.003

株式会社大兼工務店



滋賀県ワーク・ライフ・バランス推進企業



滋賀県女性活躍推進企業認証制度



滋賀県イクボス宣言企業

所在地：滋賀県東近江市佐生町150番地
TEL：0748-42-1151
HP：http://www.daikane.co.jp/

一度きりの人生 懸命に生きるなら心底から幸せだったと言える人生でありたい



WORKしが

滋賀県が推奨する企業情報サイト

- 健康経営優良法人2018
- 第31回全日本DM大賞グランプリ受賞
- おもてなし規格認証2018 金認証



“笑顔と「ありがとう」を集めよう”を合言葉にお客様や地域に幸せを提供する

あとわずか創業100周年を迎えるわが社は、公共施設や民間施設、住宅などの街づくりや家づくりを手掛けてきた地域密着型の建設サービス業です。単なる建設業とは差別化を図り、お客様の不安・不満・お困りごとに親身になって対応し、何かあった時には一番にかけつけて身近な相談相手となれるような会社を目指しています。お客様はもちろんですが、何よりも大切にしているのは社員の満足度です。自分たちが満たされることで初めてお客様に幸せが提供できるからです。そのため、待遇面や福利厚生に力を入れ、安心して働ける環境づくりを行い、「だいかねで働いてよかった」と思ってもらえる企業であり続けたいと思っています。

また、社員一人ひとりが成長でき、仕事のやりがいを感じられるよう独自の教育体制を整えています。月刊誌を利用して人間学を学んだり、今必要な知識「時務(じむ)学」を得る勉強会、県内外の様々な企業の方と会社経営を実践体験するマネジメントゲームをはじめユニークな研修を継続的にしています。コミュニケーション力やバランス感覚を持つ人材の育成と自分たちの力であらゆることに挑戦する“全員経営”を目指しています。このような中で専門知識や技術も身に付けプロへと成長していきます。一人一人が経営者としての視点を持って行動し、全員の力を結集して地域に貢献している会社です。

やってみたい!が実現できる会社

自分の存在価値を認められ生き生きと活躍する社員たちは、「お客様に喜んでいただきたい」という気持ちを強く持ち仕事に取り組んでいます。

私たちはものづくりはもちろんのことお客様や地域の笑顔をつなぐ建設サービス業です。相手に喜んでもらうためにいろいろなアイデアを出し合い、良いと思ったことはとにかく実践してみる、そんなものづくりを全員とする風土の会社です。社員たちはいろいろな企画・運営に携わりながら自分のやりたいことに挑戦しています。

社員のライフスタイルやニーズに応えた働きやすい環境づくり

設備面では、帰社してからの事務作業を軽減すべく社員にiPadの貸与を積極的に実施。入社1年目から社用車を1人1台貸与。また、時間単位の有給休暇の取得を早くから導入し、フレキシブルな取得ができるようになっていきます。工事現場においては週休2日制で現場管理するモデル現場を設定し実施。今後の現場にも取り入れていきます。さらに1つの業務を2WAY・3WAYでおこなえるようにし、この人しかできないという仕事をなくして安心して休暇が取れるようにしています。今後は在宅勤務を導入し、さらに多様化する社員のライフスタイルやニーズに応じていきたいと考えています。



会社データ

代表者：辻野宜昭
資本金：6,000万円
従業員：64名
(男性48名・女性16名)
設立：1957年

売上金：4,001,171千円
1年目支給額(年収)：320万円
休日休暇：年間110日
勤務時間：7時間50分

採用状況 過去3年

男性5名



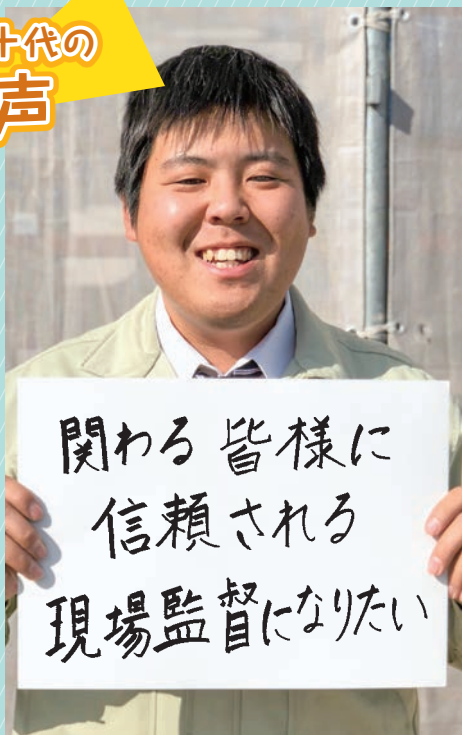
代表取締役 辻野宜昭

経営理念

お客様の
生涯利益を実現する
～笑顔と「ありがとう」を
集めよう～

「信用」にお応えできる人になりたい。

三十代の
声



市田 雄貴さん

入社：2016年
出身地：滋賀県

Uターン就職

滋賀県(高校)→京都府(大学)→滋賀県(就職)

選考内容や社風に惹かれ入社。今は現場監督として信頼関係を大切に頑張っています。

学生時代に見ていた「家のリフォームを行うTV番組」で、ユニークで使いやすいものを作る建築家と、それに嬉し涙を流すお客さんに感動し、建築士の資格を取得しました。就職活動では、地元を離れたくないという思いもあり、近畿圏で建築関係の仕事を探していたところ、友人に勧められて当社を知りました。そして、「理念が組み込まれた選考内容」や「社風」に惹かれ入社しました。

現在は、現場監督をしています。主な仕事は、「施工管理」という原価管理、工程管理、品質管理、安全管理などを建築現場で行う仕事です。初めての新築現場で、1つの設計図から建物が出来上がり、完成お引渡し日を迎えた時の達成感は、とても気持ちの良いものでした。

現場監督の仕事では、お客様や職人さんとの「信頼関係」が重要になります。そのため今後は、先輩方のような「行動や人柄を信頼して頂ける人物」になりたいです。この目標のために私は、お客様の心配事に対し、自分で対応できることであれば即日対応する等の「何事にも真摯に対応する」ことを心掛けています。そうすることで、お客様から「ありがとう」を頂き、尚且つ「信頼+1」になるのでは、と思うのです。



マイワークストーリー

My Work Story

2016年 初めてやりがいを感じた日

入社1ヶ月の時、床の軋み音の修理で訪問したお宅で、軋み音とは別に、お客様が気付かれていなかった危険なビスの突出を発見し、すぐに除去しました。その結果、初めて「ありがとう」と言ってもらったことが本当に嬉しかったです。



2017年 初・新築現場に同行

京都にて、入社後初の新築現場に係員として同行しました。そこで、何も無かった更地から建物が完成するまでの流れを経験し、現場を運営していく上で不可欠となる「工程管理・安全管理」の基礎を学ぶことが出来ました。



2018年 初施工管理での上司の言葉

初めて新築現場の施工管理を任せられ、分からないことも多く先輩に助けてもらってばかりでしたが、「最初から僕らみたいには出来ないんやから焦らず進めなさい」とアドバイスを頂き、それを励みに自分らしく進めていくことができました。



働き方
改革

離職率1.6%、
その秘密は？



「残業の見える化」と周囲のフォロー、段階を踏んだ教育で負担軽減。

私の会社では、「残業の見える化」や負担フォローのために社内共有のSNSを導入し、毎日の退社予定時間と実際の退社時間を報告し合っています。また、各現場の写真を共有するアプリも使い「現場の見える化」も進めています（写真）。

その人が全てをやらなければならないという考えではなく、多人数が少量をこなし、負担を軽減するという支え合いの考えなんです。あとは、段階を踏んだ教育や温かい職場というのも要因の一つかなと思いますね。

No.004

株式会社びわこホーム

所在地：滋賀県甲賀市水口町名坂1033-7
 TEL：0748-63-2506
 HP：http://www.biwakohome.com/

マイホームというお客さまの夢づくりのお手伝いをさせていただきます。



WORKしが
 滋賀県が推奨する企業情報サイト

- 甲賀市 イクボス宣言
- 平成24年度 おもてなし経営企業選
- 平成26年 がんばる中小企業・小規模事業者300社
- 第6回「日本でいちばん大切にしたい会社」 審査委員会特別賞



家づくりは喜びづくり、 幸せづくり、感動づくり

お客様ご家族にとって夢のマイホームづくりは、生涯の中で一番と言っても良いほどの大きな決断をされる大イベントです。そんな大切な家づくりに星の数ほどある不動産、建築業者の中から、何らかのご縁で携われることは、私たちにとっても奇跡的なことです。

びわこホームにとっての家づくりは、単に土地を選び、建物のプランを決めて、建てることではありません。家が完成するまでに、ご家族ひとりひとりの想いや夢、希望を詰め込むこと、そしてその想いを家づくりに携わるスタッフが一丸となって“かたち”にすることが、本当の家づくりだと考えています。お客様はまず、何から始めたらよいか、何が必要なかがわからず不安に感じられるかもしれません。お客様のイメージやこだわりと、土地やご予算とのバランスをとりながら実現できるプランを一緒に考え、ご提案いたします。昨年、本社ショールームを新しくオープンし、モデルハウスも新築しました。

お客様にゆっくりくつろいでいただけるようおしゃれなカフェのような打ち合わせスペースが広がっています。定期的なイベントの開催も行いお客様との繋がりも大切にしています。そして、一番大切にしている考え方があります。時代がこれから移り変わっても私たちが決して変えないものがあります。それは家づくりを通して「お客様の喜び、幸せ、感動」を追求し続けるということです。

チャレンジすることが好きな方に ぴったりの職場です

モデルハウスのデザインやプランニング、イベント開催は、若い社員が中心となり企画します。自分のやりたいことに挑戦できる会社なので、住生活アドバイザーや現場監督、設計士、コーディネーターの枠を超え、「この職種にチャレンジしたい」といった希望を叶えるチャンスがあります。年に2回の社長との面談では、自分の希望を伝えて一緒に将来のビジョンを考え、本人のやる気を優先して積極的にチャンスを与えてくれます。営業から技術職に異動した社員もいます。一人ひとりの能力や個性を發揮できる幅広いフィールドがあることもわが社の特徴です。

社員が充実した時間を過ごせる 職場づくり

勤務時間や休日を徹底してとる、ノー残業DAYを徹底するという取り組みを現在しています。家族との時間をたくさんとり充実した時間を過ごしているという社員、自分の成長のために資格取得のために学校に通って勉強している社員、趣味などに時間を存分に使っている社員等それぞれが時間を有意義に過ごすことができます。また社長が女性ということもあり、子育て中や介護をしている女性に優しい職場です。育児休暇から復帰した女性社員が働きやすいように子どもの急病や行事など、早退しなければならない理由によっては認められています。



会社データ

代表者：高木光江
 資本金：2,300万円
 従業員：36名
 (男性16名・女性20名)
 設立：1990年

売上金：14億2,814万円
 1年目支給額(年収)：264万円
 休日休暇：月6日・祝日
 勤務時間：8：30～17：30

採用状況 過去3年

男性5名 女性6名



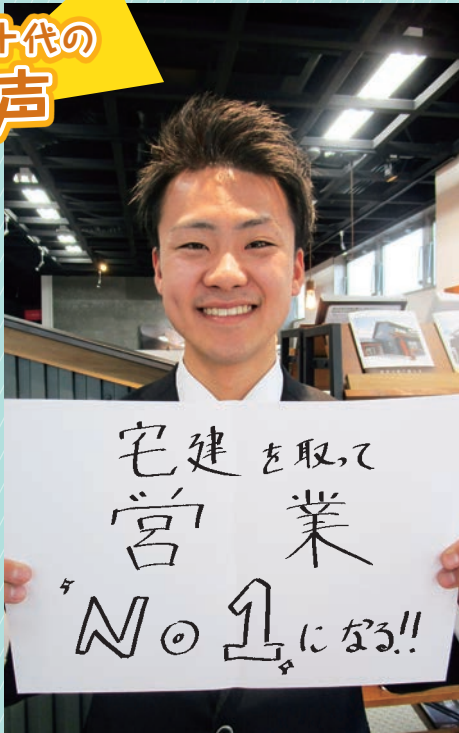
代表取締役社長 高木光江

経営理念

私たちは、住生活、感動業を通して人と地域(まち)の幸せを築きます。

お客様と近い存在でありたい

三十代の
声



中田 幸我さん

入社：2017年
出身地：京都府

1ターン就職

京都府(高校)→京都府(大学)→滋賀県(就職)

小さいころからの夢である現場監督に憧れて入社。

私は元々、現在の部署とは異なる現場監督を目指し、工業高校へ進学しました。卒業後、新たな分野に挑戦したいと思い建築や空間デザインの専門学校に入学。インターンシップで当社を知り、その時の社員の方の対応が忘れられず当社の入社を決断しました。印象に残っているのが、学生に雑務を任せるのではなく「一人の社員として」指導して下さいましたこと。様々な企業さんへインターンシップに参加しましたが、その親身な雰囲気を感じられたのは当社だけでした。

そこで知ったのが、現場監督はお客様と接する機会というのがほぼ無いということ。私が憧れていた現場監督というのはお客様と直にコンタクトを取り合い実際に自分たちで叶えるお手伝いをする、というものでした。

その後入社してからは、営業に配属になり、お客様から感謝のお言葉をいただけるようになったことで、私が子どもの頃から描いていたカタチは「この距離感なのでは」と気づきました

現在はお客様の目線に立ち物件を紹介することを心がけています。自分がまずその物件を感じることで、好きになること。そのポキャブラリーを増やしてからやっと、お客様一人ひとりのニーズに合わせたベストなご提案が出来ると思います。



マイワークストーリー

My Work Story

2017年 風通しのよい社内

社内の年齢層は最年少である私から60歳前半のベテランの方まで幅広いです。声をかけてもらいやすい、かけやすい明るい職場。息苦しさは全く感じませんし、むしろ伸び伸び成長させてもらえる雰囲気だと思っています。



2017年 初めて頂けた契約

私が初めて契約を結んだ方は何回もご自宅にご訪問させて頂いた方で、やっと契約をしていただきました。私は、初契約をいただけたのが同期の中で一番遅くその苦勞した分喜びは同期の中でも一番大きかったと思います。



2018年 右も左もわからなかった接客

現場監督を志望していたので、営業になった時は右も左も分かりませんでした。そんな時「自分の武器を活かして誠実に接客することが大切。」と教わり、学生時代に学んだ絵の技術で、家のイメージ図を描き、提案するスタイルを見つけました。



働き方 改革

定時退社が
早くなりました。



資格取得に励んだり、友人と食事に行ったりと、とてもプライベートが充実!

定時退社が午後6時から午後5時半になり、おかげで生活に余裕ができました。

仕事終わりには、友人と食事に出かけたりもしています。そして今は社内最年少宅建取得を目指し勉強をしています。毎朝5時に起きて6時に出社し、歳の近い先輩社員の方と去年合格した社員の方に教えてもらい、一緒に高めあっています。定時退社が早くなったことで余裕を持った時間に就寝でき、勉強に励むことができます。

No.005

ライトケミカル工業株式会社

所在地：滋賀県野洲市三上前田川原2251

TEL：077-588-0589

HP：https://www.lightchemical.co.jp/



WORKしが

滋賀県が産出する企業情報サイト

自社製品を持たず、研究開発・営業職もない独立資本の受託専門会社



ライトケミカルの特徴

ライトケミカル工業は、1966年設立の受託専門の化学メーカーです。自社製品を持たず、研究開発もしない、更に営業職もない独立資本の受託専門会社（独自のビジネスモデル）として、合成樹脂を製造しています。自社製品の研究開発は行いませんが、大手企業並みの設備（高粘度、高圧、高温、高真空に対応できる生産設備と高度な分析機器）と高い生産技術力（大手企業のサンプルワーク、スケールアップ、少量生産に対応できる高度な技術力）で、大手企業並みの原料を取扱い、高い品質管理のもと、お客様の開発された試作品を製品化へと迅速に対応しています。取引先としては、一部上場の大手化学メーカーが中心となっており、日本トップクラスの化学技術情報に接しながら、大学で習うほとんどの重合反応や化学反応、主要な化学工学的単位操作を用いて製造しています。

近年、業績も順調に伸びており、更なる成長に向け、積極的な採用と設備投資を行っています。化学製品は日々新しい研究開発が進んでおり、どの企業も他社より早く、より優れた製品を開発しようと取り組まれています。ラボから本生産への生産技術を確立するためには、実は当社の存在が大きく寄与しています。様々な分野からの生産委託を受けておりますが、それらに応えられるだけの広範囲で高レベルな化学の生産技術を保有しています。また、営業職はませんが、独立資本の下、お客様の大切な情報を厳格に管理する体制を確立することで、お客様から安心して委託していただいていることも理由の一つだと考えております。

従来からのビジネスと近年注力しているビジネス

<従来からのビジネス> ①臨時の増産対応 お客様が生産する製品の需要が急激に増え、生産が追いつかなくなった際、継続的な需要増であればお客様の設備導入までの繋ぎとして、一時的な需要増であれば設備コストを掛けない急場しのぎの対応として、受託生産のお手伝いをしています。②お客様のBCP対応 お客様のBCP（事業継続計画）対策の一つとして、継続的な受託生産を行っています。

<近年注力しているビジネス> ①生産技術の確立 お客様のピーカーワークを基に、量産化に必要な設備や生産条件を当社の設備を用いて検討し、生産技術を確立しています。②マーケット評価用のサンプル生産設備の増強や改造を行い、数十kg～数tまでのサンプルワーク用のサンプルをスピーディに生産しています。③プラント稼働までの少量生産 お客様のプラントが稼働するまで、新製品の少量（数百kg～数百t）生産のお手伝いをしています。

私たちの会社の働き方改革について

2018年より所定休日を117日から121日に増やしました。所定休日を4日増やすことで、家族と過ごす時間や趣味などに費やす時間を確保し、仕事と生活のバランスが取れるようにしています。また、会社には同好会があり、文化・体育活動を通して、社員の健全な心身の育成を図り、職場を超えた社員間の交流と明るい職場作りを促進するため、会社から補助金を出し活動を支援しています。現在、フットサル・ゴルフ・釣り・テニス・自転車・ボウリング・山岳同好会があり、同じ趣味を持つ社員同士が部署の垣根を越えて、休日楽しく活動しています。



会社データ

代表者：富村俊介
 資本金：2,500万円
 従業員：170名
 （男性146名・女性24名）
 設立：1966年

採用状況 過去3年

男性37名 女性3名

売上金：76億円
 1年目支給額(年収)：400万円
 休日休暇：年間121日
 勤務時間：8：30～17：30



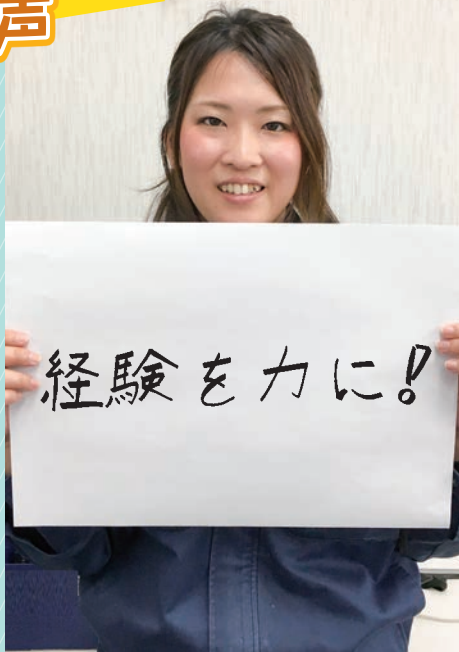
代表取締役 富村俊介

経営理念

・人を大切にし、人と共に成長します。
 ・誠実を誇りとし、安心を提供します。
 ・夢のあるモノ創りに挑戦し続けます。
 ・社会と自然への思いやりを大切にします。

楽しく働きたいと思って入社しました。

三十代の
声



島田 佳奈さん

入社：2015年
出身地：大阪府

1ターン就職

大阪府(高校)→大阪府(大学)→滋賀県(就職)

難しく学ぶことも多い仕事。
コミュニケーションを大切に頑張っています。

生まれも育ちも大阪だったので大阪以外で就職をしようと考えていました。たまたま大学で当社の会社説明会が開催され、参加したところ、社員の方がすごく楽しそうに説明されていたのが印象的でした。会社にいることが本当に楽しいのだろうなと感じ、私自身も楽しいところで働きたいと思っていたので、とても惹かれ、これが入社を決め手となりました。

実際に働いてみると難しいことがたくさんありますが、職場はいい人ばかりで日々勉強しながら業務に励んでいます。現在ラボ業務を担当し、お客様から依頼された製品を実機で安全に生産するために、反応挙動や作業性を確認しています。お客様が普段どのように操作されているか等

もヒヤリングしていますが、そこに試作するための条件が隠れていることもあるのでコミュニケーションを大切にしています。

お客様から聞いた情報をもとにギャップを埋めていくことにやりがいを感じており、今後も技術の向上に努めていきたいです。また将来、結婚して子供ができてもしっかりと働いていきたいと考えているので自分のできる業務の幅を増やして頑張っていきたいです。



マイワークストーリー

My Work Story

2015年 自信がついた年

検査・品質管理への配属となり、工程の管理や完成品の確認など、先輩に頼りながら仕事を進めていました。その先輩が中国に長期出張することになり、一人でやらざるを得なくなりました。この経験により、自信がついたと思います。



2016年 経験値の増えた年

部署異動があり、未経験のラボ業務を担当することになりました。初めはお客様に言われたことをするだけで精一杯でしたが、一人でラボを任されるようになり、経験値が一気に増えたと思います。



2017年 後輩育成を学んだ年

後輩が二人増え、彼らの指導や管理をすることになりました。後輩の育成は初めてで不安も大きかったですが、周りの人に助けをもらいながら、人を管理することの難しさを学ぶことができたと思います。



働き方 改革

増えた時間を
趣味に活用



同好会で趣味のテニスや登山を満喫。

2018年9月から年間休日が4日増えました。入社当時から有休の取りやすい職場ではあったのですが、休日が増えたことで、趣味や自分の時間がより多くなったと思います。その時間を使って温泉に行ったり、ディズニーランドに行ったりしようと考えています。また、会社の同好会にも入会しており、休日には、テニスや登山を楽しんでいます。日頃、関わる機会が少ない社員とも趣味を通じて交流を深めています。

No.006

株式会社オーケーエム



所在地：滋賀県蒲生郡日野町大谷446-1
 TEL：0748-52-2131
 HP：http://www.okm-net.jp



●経済産業省 地域未来牽引企業

WORKしが
滋賀県が誇る企業情報サイト

独創的な技術と発想を活かし、
 業界の最先端を行くバルブを世界へ



バルブとは?そして、オーケーエムとは どんな仕事をしている会社なのか?

当社は創業117年の長い歴史を持つバルブメーカーとして、独自の技術で最先端のバルブを世に送り出しています。バルブとは、様々な配管に取り付けられ、弁の開け閉めによって、水やガス、粉体など様々な流体を制御する機器のことです。ふだん目にすることはありませんが、当社のバルブは、大型タンカー船や原子力・火力発電所、高層ビルの空調設備など多くの場所で使われています。

当社の強みは、長年培ってきた流体制御技術と、お客様志向のマーケティングに基づいた製品開発です。技術研究所から収集した貴重な科学データも、新製品開発における大きな財産となっています。社員200名ほどの企業ですが、バタフライバルブという製品では国内シェアトップクラスを誇っており、マレーシアと中国に工場を持ち、海外へも製品を供給しています。

近年の業績は順調で、今後はさらなる成長を見込んでいます。というのも、世界的に環境規制が厳しくなる中で、船舶エンジンの排気ガス規制に関する国際条約が採択されました。これを受け、2017年には世界的な船舶エンジンメーカーから、当社のバルブが国内で唯一の排気ガス規制対応バルブとして認証を得ました。また、今後の需要増に対応するため、2019年春には滋賀県東近江市で新工場が稼働する予定です。

そんな当社が目指しているのは、お客様から一番に声をかけてもらえる「ファーストコールカンパニー」です。その目標を達成するためにも、社員自らが仕事を通じて自己研鑽し、誇りを持って働ける会社づくりを目指しています。

オーケーエムの社風や 新入社員に求めることについて

大手企業に比べると社員数が少ないこともあり、異なる役職・部署の社員と仕事で接する機会が多く、様々な考え方を取り入れることが出来ます。また、社員旅行や食事会、部活動での社内交流を深めている為、和気あいあいとした雰囲気でも仕事出来るのも魅力のひとつです。

また、新入社員に求める人物像は、部署を超えて多くの仲間、先輩とコミュニケーションを取りながら、会社全体の成長を考えられる人です。ビジネスパートナーであるお客様に喜ばれ、そして社会に役立つ製品を届けることをやりがいに感じ、会社とともに成長して欲しいと願っています。

生産性向上を目指した働き方改革

来年度からの働き方改革の取り組みとして、残業削減・有給消化率の向上に積極的に取り組んでいます。具体的には、業務の進め方を見直し業務効率を上げることで、業績を下げる事のない労働時間の削減と有給消化率の向上を目指し、ワークライフバランスの実現に取り組んでいます。

現在でも総務部内での取り組み例として、ノー残業デー（毎週水曜日）、有休の計画消化を導入しており、業務効率化や労働時間削減を進めています。なお、将来的には全社的な取り組みに広げることで、社員全体の満足度の向上に繋げていきたいと考えております。



会社データ

代表者：村井米男 売上金：58億円
 資本金：499,665,280円 1年目支給額(年収)：275万円
 従業員：210名 休日休暇：年間117日
 (男性165名・女性45名) 勤務時間：8:20~17:10(本社)、9:00~17:35(営業)
 設立：1962年

採用状況 過去3年

男性56名 女性20名



経営理念

「お客様に喜ばれる商品創り」
 お客様に喜ばれ続けることが
 使命であり、環境負荷がかからないものづくりと社会に貢献
 できる商品の提供を目指してお

代表取締役社長兼CEO 村井米男 ります。

社員の働きやすい職場づくりを目指して

三十代の
声



玉井 辰磨さん

入社：2015年
出身地：滋賀県

Uターン就職

滋賀県(高校)→石川県(大学)→三重県(就職)→滋賀県(就職)

総務関係の仕事を希望し入社。
社員満足度を上げるべく日々頑張っています。

大学卒業後は三重県にある食品メーカーに就職しましたが、心機一転新しい仕事がしたいと考え、実家から通える職場で一から覚えられる総務関係の仕事を希望しました。

転職にあたっては、業務内容や職場の雰囲気自分が合っていた為、ここならば一からやっていけると考え入社を決めました。この4月からは人事面に力を入れるため人事課が新設され、現在は就職説明会でのプレゼンをメインに、社内規程の見直しなども行っています。

また、社内の人間関係での相談事が寄せられることもあり、その問題が解決し、仕事に精を出しておられる姿を見ると、真摯に対応した甲斐があったなど大変嬉しく思います。

仕事を進める上で気をつけているこ

とは、総務はどうしても会社会的な立場から物事を考えがちになるのですが、社員の立場からも考えることで全体のバランス感覚を大切にしています。

今後は、人と人の繋がりの中で社内の問題を解決し、社員満足度や仕事への意欲を上げる取り組みが出来ればと考えています。製造や営業などの他部署でも経験を積み、将来的には管理職や役員になって会社全体を動かすような仕事をやってみたいと考えています。



マイワークストーリー

My Work Story

2016年 厳しい上司に鍛えられた日々

入社当時は、上司が厳しい方でくじけそうになることも多かったですが、その頃に努力を惜しまなかったおかげである程度のことではめげなくなり、根気強く仕事に取り組めるようになりました。



2017年 自身の仕事の見直し

入社2年目に初めて部下が出来ましたが、社会人1年目の新入社員だったこともあり、全てを一から教えるのに大変苦労しました。ただ、人に教える上で自身の業務を見直す良い機会となりました。



2018年 自身のスキルアップを実感

社内規程すべての見直しを進めることで、法令関係の勉強をする良い機会となりました。この経験を通して社会問題や一般常識に対する理解も深めることができ、社会人としてのスキルアップにもつながったと思います。



働き方 改革

余裕のできた時間を
趣味や旅行に



総務部で導入された働き方改革制度を将来的には会社全体で導入したいです。

働き方改革への取り組みとして、総務部ではノー残業デー、有休の計画消化を導入しており、会社としてもくるみん認定、イクボス宣言、女性活躍推進等の認証取得を進めております。このうち、有休の計画消化を利用して、趣味のフットサルやマラソンに打ち込んだり、休みを連休にして旅行に出かけたりもしています。部署によって忙しさは異なる為難しい部分もありますが、将来的には会社全体で制度を導入していきたいです。

No.007

日野精機株式会社

所在地：滋賀県蒲生郡日野町西大路2140
 TEL：0748-52-1075
 HP：http://www.hinoseiki.com



WORKしが
 滋賀県が産する企業情報サイト

音を通じたものづくりと、新たな分野への挑戦で、これからの社会を支えます



一貫生産体制を実現する技術力と、国内、海外問わない広範な調達力が武器

弊社は1978年に創業し、40周年を迎えました。音響機器メーカーから委託を受け生産する、OEM生産から始まった会社です。日本全国の踏切に使用される「警報器」、浜辺やダムなどに設置される「防災用スピーカー」、手で持って声を大きくする「ハンズメガホン」など、音に通じたものを中心に製造しています。スピーカー製造には、様々なものづくりの要素が含まれております。精密板金プレス加工、ダイカスト鋳造、機械加工、粉体・溶剤塗装、組立、検査といった設備、及び技術が必要になります。これらを一貫生産で行うことができるのが弊社の特色です。社内で生産しているため、短納期や特注対応など顧客の様々なニーズに柔軟に対応しています。この技術を応用し、新しい分野へ挑戦しました。弊社は音響関連事業、機械関連事業、医療関連事業を3つの柱として、経営の安定を確保しています。医療機器や環境測定機器の樹脂・金属部品、農業用機械のエンジン部品に携わり、金属加工のプロとして、また、韓国に子会社を持ち、子会社を通じて海外から部品調達を拡大しています。樹脂製品・鍛造部品・焼結部品・精密プレス部品など、品質の高い製品をより安価で提供できる体制を整えています。自社で製作できないものも、国内、海外問わず、広い範囲で調達が可能であるため、お客様のあらゆるニーズにお応えします。社内各部門が常に連携し情報を共有し合うことで、技術的難題にも共に悩み、知恵を出し合い、問題解決に取り組める環境が整っております。

スピーカの製造技術を武器に、新たな分野へ挑戦する

日々変化する顧客ニーズに柔軟に対応すべく、弊社では、『三大革新』（営業革新・調達革新・生産革新）に取り組んでいます。弊社の武器である、一貫生産体制の強化と、調達力の強化により、新たな事業分野に挑戦し、未来の社会を築いていきます。また、更なる飛躍を目指し、野洲市に新工場建設を予定しており、今後の事業拡大に大いに期待が出来ます。弊社は「発想無限大」という企業コンセプトを掲げています。これは柔軟な発想で、新しい分野に果敢に挑戦していこうという社員全員の思いを表しており、今後益々これからの社会に貢献していきます。

若手社員の活躍、女性社員の働きやすい職場を目指して

三大革新の一環で、社員の活躍、働きやすい環境を整え、ワークライフバランスを考える改革を行っています。三大革新により5年で売上5億円UPを目標に掲げ、業績が上がるごとに年間休日数を増やすことを考えています。また、若手社員を中心に、社内研修だけでなく、社外研修にも積極的に参加し、自身のスキルアップの機会を提供しています。女性社員も産休制度、育児休暇制度はもちろんのこと、職場復帰をして頂き、長くご活躍して頂く環境を整えます。また、スポーツサークル活動も行われ、活発な社内交流もあり、公私共に充実し、自分らしく働ける職場を目指しています。



会社データ

代表者：福田弘
 資本金：2,320万円
 従業員：109名
 (男性69名・女性40名)
 設立：1978年

売上金：18億900万円
 1年目支給額(年収)：300万円
 休日休暇：年間111日
 勤務時間：8：30～17：20

採用状況 過去3年

男性10名 女性4名



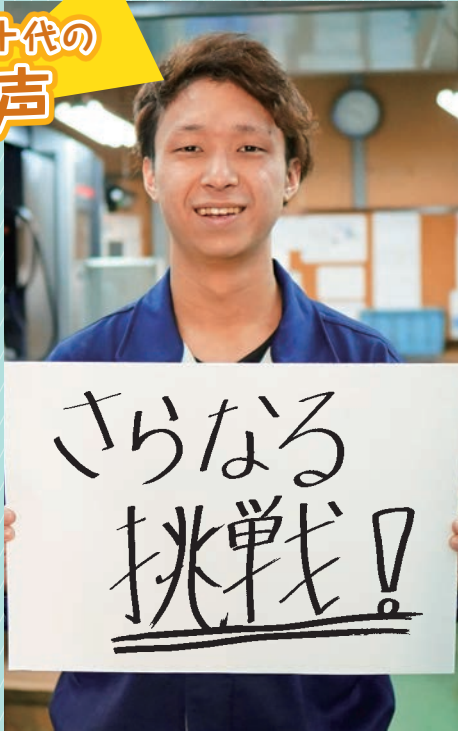
代表取締役社長 福田弘

経営理念

「基本に忠実な経営」
 ものづくり事業を通して品質確保、環境保全に努め、社員一人ひとりが社会に貢献できる企業を目指しております。

機械加工の生産性向上に向けて様々なことに挑戦し続ける。

三十代の
声



村地 拓磨さん

入社：2014年
出身地：滋賀県

滋賀で卒業・就職

滋賀県(高校)→滋賀県(就職)

おじいちゃん子から、幅広く挑戦する機械加工職人に

私は、幼い時からおじいちゃん子ということもあり、大工である祖父の背中を見て育ちました。祖父の影響から“ものづくり”に対する憧れがあり、工業高校に進学し、機械科を専攻しました。高校2年生の時にインターンシップで日野精機と出会い、板金加工、塗装、アルミ鋳造、機械加工、組立などの製造工程を一通り職場体験しました。その際、指導員の方に「今、君が機械加工している部分は人目に付かない部分だが、人の命にもかかわる大事な部品で、これを作るにはすごい技術が必要なんだよ。」と聞き、ものづくりの難しさ、大切さを改めて実感しました。また、当社では様々な製品や機械に携わり、高度な技術を身に付けられることから、入社を決意しました。

現在、機械加工を担当しており、精度の高い製品を加工するためのプログラムの作成や加工に必要な刃物の選定や治具の作成、完成品の検査作業を行っています。初めは加工プログラムの作成が難しく、苦戦していましたが、先輩の丁寧な指導や自分で勉強をするうちに、乗り越えることが出来ました。今ではほぼ全ての機械を任せられるようになり、現場リーダーを担当しています。



マイワークストーリー

My Work Story

2014年 仕事の辛さと面白さを知った。

入社一年目、専門的な機械のプログラムが暗号にしか見えず、覚えるのにとっても苦労しました。しかし、それを乗り越えて、幅の広い仕事を任せられるようになるにつれて、面白いと感じるようになりました。



2016年 改善提案活動の発表

全国の製造に携わる企業が自社の改善提案活動の成果を発表する大会があり、その発表を任せられました。今まで、人前で話す機会がなく緊張しましたが、練習を繰り返すことで、成果を残すことが出来ました。



2018年 若きリーダーの思い

今は会社の目標でもある生産性向上のために、職場環境の維持・改善活動のリーダーもしています。整理整頓を行い、現場が綺麗になる様子を見ると、私の理想である“安心できる職場”に近づいていることを実感出来ます。



働き方
改革

サークル活動、
プライベートの充実



家族や友達との時間や、社内交流の時間が増えてプライベートが充実した。

年間休日の増加に伴い、休日を利用して家族や友達とスノーボードに行く機会が増えました。プライベートが充実したことで、仕事にもより力が発揮できると感じました。また、社内で海外からの研修生と交流を深めるサークル活動が活発となり、言葉の壁を越えて、仲が深まったと感じました。社内サークルの仲間と一緒にスノーボードに行くことが決まり、仲の良い先輩後輩が増え、これからもっと会社全体が盛り上がっていくように思います。